

発 行 青森県金木町役場

編集企画室

町の人口と世帯数

(男 7,375

人口 女 7,522

【計 14,897

世 帯 数 3,620

(S 50.3.1 現在)



町民サービス・デー

(1) 第132号 昭和50年3月号

近 つづく

県 会 投 票

不在者投票は 四 月十二日

ま

な選挙ですから、自分ひとりぐら 映させるための代表者を選ぶ大切 ました。県民の声を県政に直接反 示、四月十三日投票日と決定され 県議会議員選挙は、四月一日に告 は棄権しても、というような考 統一地方選挙のトップをきって

票できない方は、 票するようお願いいたします。 れた権利を行使するためにも、大 えをおもちの方は、自分に与えら

切な一票を無駄にしないで必ず投 用務等のため投票所に出向いて投 また、投票当日止むを得ぬ業務 金木町選挙管理

> 後五時までです。 日まで毎日午前八時三十分から午 の期間は、四月一日から四月十二 ようにしてください。不在者投票 ができますので、是非投票をする 委員会にて不在者投票をすること

◎立会演説会日程決まる

者のみなさんは候補者の政見を上 公民館で開催されますので、有権 においては四月十一日金木町中央 午後七時からの予定ですが、当町 の立会演説会は、四月六日から四 く聞いて立派な候補者を選びまし 十一日まで延べ六回、いずれも 県議会議員北郡選出議員候補者

当町にも相当数の該当者がいると 思いますので、いままで投票でき もので、現在県内には二千二百人 自ら投票所に出かけて投票できな ら、身体に重度の障害があるため なかった方は是非この制度を活用 かった人たちのために改正された の制度は、 投票してください 選挙権がありなが

部が改正

挙法の一

公職選

乛、 0 郵 便で不在者投票のできる人

昭和五十

が復活し

年三月一

日以降に

票の制度

不在者投

県会議員選挙にも適用

便による

害者の郵

度身体障 され、重

臓・じん臓・呼吸器にあっては くは体幹が一級または二級、心 定する身体障害者について 一身体障害者福祉法第四条に規 級または三級と記載されてい 身体障害者手帳に両下肢若し

13 日 0

投票から

る選挙の 告示され

ることに

です。

二戦傷病者特別援護法第二条第

項に規定する戦傷病者につい

実施され

二、不在者投票をすることのでき る人が行う手続き 一郵便投票証明書交付の申請が

選挙の公正確保を期するため

口投票用紙及び投票用封筒の交

挙管理委員会にお問合せ下さい

その他不明なことは、金木町

が書面により証明した人 を備える県知事(福祉事務所) とにつき、身体障害者手帳交付 まで、心臓・じん臓・呼吸器に は体幹が特別項症から第二項症 台帳及び戦傷病者手帳交付台帳 れらの障害の程度に該当するこ に両下肢等の障害の程度が、こ までと記載されている人、さら あっては特別項症から第三項症 戦傷病者手帳に両下肢若しく

られます。 は口の要件が備っている人に限 を受けている選挙人で、一また 手帳または戦傷病者手帳の交付 投票のできる人は、身体障害者 したがって郵便による不在者

必要です。

書面を添えて申請して下さい。 名した文書(用紙選管にあり) 名簿に登録されている選挙管理 郵便投票証明書(選挙人が郵便 ない場合には県知事が証明する によって障害の程度が明らかで 者手帳を提示し、また、手帳等 に身体障害者手帳または戦傷病 委員会の委員長に対して自ら署 投票のできる選挙人は、選挙人 できる者に該当する旨の証明書 による不在者投票をすることが 書を郵送します。 ると認めたときは、直ちに証明 請により、該当する選挙人であ ||選挙管理委員会では、||の申 の交付をまず受けて下さい この場合、郵便による不在者

ければなりません。 った場合は直ちに選管へ返さな 在投票をすることができなくな れたとき、または郵便による不 他市町村の選挙人名簿に登録さ の投票に使用できます。しかし ら、その間に行われる各種選挙 交付の日から四ヶ年有効ですか また、この郵便投票証明書は

三、投票用紙及び投票用封 筒の請

び投票用封筒を、 名した文書により、投票用紙及 ればなりません。 挙期日前四日までに請求しなけ 提示して、当該選挙人が自ら署 付されている郵便投票証明書を 付を請求する場合は、すでに交 一選挙人の請求 投票用紙及び投票用封筒の交 おそくとも選

認めたときは、直ちに投票用紙 在者投票をすることができると 求した選挙人が、郵便による不 及び投票用封筒を郵便で交付 選挙管理委員会では、その請

不在者投票の方法

封筒に入れ封をし、さらに投票 なりません。 ら郵便をもって送付しなけれ 刻までに投票の送致ができるよ 場合はその住所を書く)を記載 内名、また他市町村に現在する 用封筒に入れ封をし、その表面 する場所において、自ら候補者 付を受けた選挙人は、その現在 員長あてに、投票所を閉じる時 れて封をし、その表面に投票が 更にそれを他の適当な封筒に入 するとともに、自ら署名をして に投票記載年月日及び場所(町 して直ちに選挙管理委員会の委 在中する旨(投票在中)を明記 一人の氏名を記載し、それを内 投票用紙及び投票用封筒の交

五、その他

秘密侵害の防止については特に注 るまでの間、投票に対する干渉や 挙人が投票用紙に記入し、郵送す 等に誤りがないようにし、また選 ばならないものですから、手続き 責任において適正に行われなけれ 等がいないので、すべて選挙人の や複雑であり、不在者投票管理者 郵便による不在者投票の方法は、 意しなければなりません。 一般の不在者投票とことなり、 以上その概略を記述しましたが

de.

学校・保育所などに

中に電波時計 枝 坂本勘一さん

務のかたわら高校・大学の通信教 隊に入隊し、それ以来十一年間勤 を断念し、東京に就職しました。 早くなくした家庭の事情から進学 木中学校を一日の欠席もなく卒業 苦労力行の人物です。 育をうけ、立派に卒業したという し、五高に合格しましたが、父を その後思うところがあって自衛 坂本さんは、昭和二十六年に金

工舎)に入社し現在にいたってい 自衛隊退職後、服部時計店(精

よって時間を自動的に調整すると 波時計はNHK第一放送の時報に 上のものだそうです。 いう精密なもので、時価三万円以 坂本さんが寄贈したセイコー電

好意に深く感謝されています。 母校の後輩を愛するよき先輩の

保育所・児童館に消火器

芦

野町 斎藤義信

さん

ていましたが、昭和四十三年から 金木町の栄町で鉄工所を経営して 木造町の叔父のところに移り過し いましたが、父をなくしたその後 学校五年生の昭和十八年まで、 斎藤さんのうちでは斎藤さんが

ーブ病院を新設し現在にいたって から更に事業を拡張して石油スト ましたが、商売も順調で四十五年 再び金木町に斎藤商会を創立し、 います。 電気器具・化粧品等を販売してい

事者および関係者からも大変喜ば 各一本づつ計六本を寄贈し、町理 児童館と蒔田児童館に粉末消火器 第一から第四まで)および、川倉 でも役立てばと、金木町保育所(れています。 情を知り、児童福祉のために少し 斎藤さんは、町の苦しい財政事

老人クラブに安全つえ百本 保育所に八十足の長くつ 小川町 伊藤庸一さん

来ています。 長きにわたり順調な営業を続けて 藤履物店を開店し、四十五年間の 藤さんでは昭和五年に父が伊

をつとめています。 うけつぎ、経営内容も多少変え近 入隊し、現在金木中隊の事務局長 昭和四十四年に自ら交通指導隊に のかたわら、交通の安全をねがい 代的な店舗をかまえ、実直な営業 二十七年高校卒業と同時に家業を 現在は長男の庸一さんが、昭和

役立てばと、老人クラブに安全つ めてお年寄りと子どもだけにでも 祉事業に協力したこともなく、せ 本人は、これまで何んら社会福

地域の住民から感謝されています。 保育所、児童館備付)を寄贈し、 とも何かしらを毎年贈らせて貰い え百本、保育所に長くつ八十足 ますと喜んで話していました。 また、伊藤さんは向後多少なり

全校児童にタコ贈る 野秀一さん

浦町

尾

です。 んであったとされています。 さんの中でも最も腕の立つ大工さ 人形ケース等の小細工仕事に懸命 資格を得、現在もそのほか、額縁 大工の道に入り、数多い若い大工 仕事の忙しい中で二級建築士の 尾野さんは、学校卒業後直ちに

から仕事の合間を見て作り上げた です。これは尾野さんが昨年の夏 ものです。 十六組のタコの骨組を贈ったもの せようと、金小児童全員に六百三 代の遊びを思い、特にタコ揚げの おもしろさを今の子どもに味わわ もの遊びが急変し、自分が少年時 ら非常に趣味が豊富で、近来子ど 尾野さんは、そのほか若い時

され、数年前から二メートルの大 ご好意に限りなく感謝しています です。学校側でもこの尾野さんの ど前から図工の時間を利用し、生 生が "津軽ダコ" の勇壮さに魅了 回らず、尾野さんに依頼したもの もたちに伝承させたい、と二年ほ 製作し、昔のよき遊びを今の子ど ダコからハガキ大のミニダコまで したが、時間的に骨組までは手が 徒にタコ絵の描き方を教えて来ま この動機は、金小の成田勝義先

転入学するときは

うな手続きが必要です。 童生徒を転校させる場合、次のよ (1)転校する児童生徒の保護者は、 き、転出届けをして住民票の交 まず転出に先立って、役場に行 保護者の転勤などに伴って、児 付を受けます。

(3)次に、新しく転入することにな (2)住民票が交付されましたら、そ 告することになっています) だちにその旨を教育委員会に報 学証明書を交付した校長は、た を受けます。(転出のための在 校へ持参し、転校する旨を話し れを児童生徒の現に在籍する学 ことになっています) その旨を教育委員会に通知する て学校長から在学証明書の交付 (届け出を受けた市町村長は、

参加で賑わいました。 この大会は年々回を重ねるにつ

> を提示します。 る市町村役場に転出先からの住 していた学校からの在学証明書 の住民票の写しとこれまで在籍 委員会へ行き、転入した新住所 とともに、転入先の市町村教育 民票を提出して転入届けをする

4そこで転入学証明書の交付を受 を連絡します) け、入学すべき学校の指定を受 指定した学校の長に対しその旨 けます。(市町村教育委員会は

教育委員会に相談してください。 ますが、くわしいことは市町村の (5)最後に、指定された学校へ行き 以上で転入学の手続きは完了し 明書を提出します。 学証明書と転出先からの在学証 転入先の教育委員会からの転入

強い 子を

成会(会長今正志)の後援のもと 橋郁也)では、当地区子ども会育 れました。 に第六回の雪上運動大会が開催さ 良市地区子ども会連合会(会長大 し、子どもの育成指導に懸命な喜 地域の恵まれた環境をフルに活 喜良市子ども会

どもはスキー、そり競技、それに れ活況をおび、特に今年は育成会 大人がまじえて大歓声。 の後援とあって親子ともどもの総 開会と同時にタコ揚げ大会、子

上 運 動 (

りでした。 過し、競技の結果成積は次のとお 戦、お昼は各団ごとの雪上キッチ 幟、応援団旗ではなやかな応援合 ンでブタ汁フーフー…… 大会はなごやかなうちに一日を 地区十四単位団は各々横断幕、

二位 四位 五位 一位 南北子ども会チーム(南北本町 青空 ポプラチーム 竹の子チーム 東子ども会チーム(東岩見町 野ばらチーム チーム 〒 E (西岩見 宛 葉 派 町 立 町 町

み午新年 京第一回目の朝市は 度第一回目の朝市は であるよ 七度 いたしまれたしますの の週 で日 曜 町日

小三木

恵 貴 公 子 哉

女女男

2 2 2

誕 生おめ でとうござ ま 中工津外長木谷藤島崎利村

(秀孝

長

女

長男)

溝荒 鳴辺

金

長女)

(届出分)

女女

3

(事代太郎長

女長男

(健一郎

女男

山 定弘 (定栄

喜良

結 婚 おめでとうござい

む サ 友清 つ公 裕子則 み敬 子孝 (京正) (京正) (京正) (京正) (本清 (文之助長女) (武智信善四男 政五 (権)次 太郎 2 郎郎 長長 3 2 4男 女男 女男 女男 届出分 東嘉 喜鶴 喜北 京藤 鶴喜 藤喜 嘉川 中蒔 中喜 静嘉 喜石 黒嘉 金弘 川中 五喜 嘉嘉 平喜 京 良田 良海 都 田良 良 崎 里 里良 岡 良川 石 前 里 所良 内良 都瀬 市町 市道 市枝 町市 枝市 瀬市 町田 町市 県瀬 市県 市瀬 木市 倉町 市市 瀬瀬 町市 喜石 黒嘉 金弘 川中 五喜 嘉嘉 平喜 北中 嘉茨良川 石 前 里 所良 内良 海柏 城

(工藤志保子) (田中 忠治 工石 田鈴藤丸 中木 ト忠 好一シ治 子行 養藤 由又 弥勘 定実 一吉 (与八郎民女) (神太郎長女) (与野、長女) (喜代市 (海古 (貞一 好郎 () 東古 郎 3 2 2 4 3長32長2長2 4長 3 4 (2月届出分) 女男 女男 女男 女男 女男 女男 女男 女男 女男 宫喜 蒔五 金五 沢高 沢岩 浪喜 金福 沢群 五川 東金 東金 金佐 金青城良 所 所 知 手 岡良 島 馬 所 京 京 索 森県市 田市 木市 部県 部県 町市 木県 部県 市倉 都木 都木 木県 木市

(2月届出分)

(作太郎 2 女 2 女 3 男) (市大郎 2 女 2 女 5 3 男) (下四郎 2 女 2 女 5 3 男 2 長 女 5 3 男 5 3 男 5 3 号 5

岡磯吉藤白工櫛白徳前沢徳松京小西中花鳴外伊田野田井川藤引川田田田田川極野村谷田海崎藤

亜

喜金沢金沢川金川金神嘉金嘉嘉中喜川金嘉嘉嘉金嘉良

(利秋秋隆密 黄男 大)

黒白西吉鳴大泉田田田田沢田 白色白工秋笠 中中中中田 おお は 中中中田 おお は 中中中田 おお は 中中中田 おお は 中子 を おお は 中子 を かった また また また は 中光 恵 子 生子 と かった また また また は かった また は 中 光 恵 子 生子 と かった また また は 中 光 恵 子 生子 と かった また は 中 光 恵 子 生子 と かった また は 中 光 恵 子 生子 と かった また は 中 光 恵 子 生子 と かった また は いっと は いっと かった は いっと いっと は い

金喜金沢喜嘉嘉喜川川川金嘉嘉金沢金喜沢金金金嘉金川金金金金金

良工良工程度工程度大市大部市瀬瀬市倉倉倉木瀬瀬木部木市部木木木瀬木倉木木木木市

(文男 (歌之吉4男) (歌之吉4男)

美哉子織子道幸子

(酸弘 長男) (勝文 長男) (所文 長男) (前本 2男) (武光 長女) (東七古長男)

() 勇雄

2 3 郎 長 4

女男

2男) 2女) 義 由 昭 男 也

長 長 女)

弘和幸千仁澄悟澄純敬苗和智香綾智子彦子加美香 子子子美哉子織子道

 (C)
 (C)
 (C)
 (C)
 (C)
 (C)
 (D)
 (D)

2 長 長 2 2 長 長 長 長 長 長 長 長 2 長 長 女 男 女 女 女 男 女 女 女 男 女 女 女 男

市木部木部倉木倉木原瀬木瀬瀬木市倉

(幸則

大岡美雪

(治光成)(美)

長長2長男男

子(原四)

3長

郎長 長 2

等実

大橋寿美子

伊今小森間西今松原西秋鳴藤 宮村 川田村紀元海 東西 さ四美利昇 とく い卯イさ 郎な郎子子 83 95 62 80 85 90 94 76 14 12 58 67 74 オオオ 才才 才 才 才才 金嘉金喜金喜嘉嘉中金金嘉蒔 良 良 柏 木瀬木市木市瀬瀬木木木瀬田

お < や 4 申 あげ ま

す

子男

女男

(全)

長6

女男

さ助

月届出分

開西 工今 金赤 木森 米村 藤 子波 村 江 こ 3 江 恵定せ信よ孝留子博つ路子治美勉 え博子逸 長金 五金 中喜 金長 嘉神 嘉中 崎 所 里良 崎 奈 里 県木 市木 町市 木県 瀬川 瀬町

ます 金金中 柏 木木木 中大 満長 小山 沢川 西橋 武尾 倉田 田原 井阿 木小 平長上部 立寺 川利 小三 秋平 野上美 元川留 ぬ E え光子生 サ 尋一子薫子雄 久信 子一 智誠 理光 子美 (連大郎) 22日 (記才利倉(河)(記長 次太夫太作職永太 郎 (石族) (一一一年) (石族) (五族) (男本 2長長長3 34 女) 2 3 2 女男 女男 女男 女男 女男 女男 長金 嘉中 嘉嘉 秋喜 福金 神金 金北 中神 嘉嘉 崎 里 田良 岡 奈 海里 県木 瀬町 瀬瀬 県市 市木 川木 木道 町原 瀬瀬

石白小松今工今角角秋中郷川山川 藤 田田元村 きやり武ソタ秀な 江なマ男ヨヨ人よ 76 61 82 65 60 63 69 63 21 84 オオオオオオオ 才 沢金嘉喜喜川沢金嘉金 部木瀬市市倉部木瀬木

(4)